

平成29年度学校評価報告書

平成30年3月12日

1 本年度の学校教育目標

- (1) 科学的な思考力の育成と生産力を高める知識・技術を習得させる。
- (2) 豊かな教養と情操を涵養し、さらに北方生活に適する強靱な身体を育成する。
- (3) 地域社会の実態を認識し、ボランティア活動等を通して生涯学習活動を推進する。
- (4) 個性の伸長と確立に努め、自主・協調の精神を培う。
- (5) 勤労を尚び自然を愛する精神を養う。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の徹底、改善が必要である。 ・授業改善や評価法の工夫が必要である。 ・言葉遣いなどマナー指導が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持たせ、学習意欲を高め、学習内容のレベルアップを目指してもらいたい。 ・生徒の資質向上を目指す教職員の努力には感服しています。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてチームティーチングによる授業を検討する。 ・公開授業、合評会の活用による資質向上や校外研修(特別支援教育、教科研等)への積極的参加を行う。 ・ホームルームを通じて、授業規律の再確認を行う。 ・読書週間の実施など言語活動の充実を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・理解支援ツール「ほっと」を活用し、生徒個々の理解を深める教育相談の推進に努めた。 ・特別活動の充実やボランティア活動の推進を図り、生徒の自主的自発的活動の促進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導の強化。 ・高齢化する地域の実情を踏まえ、若い力を利用し除雪作業などボランティア活動を進めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況について、日常的・計画的な情報共有により、組織的な対応を行う。 ・校内巡視や教育相談の強化、充実を図る。 ・農業クラブ活動や部活動など生徒の諸活動の充実、発展を図る。 ・地域の小中学校、特別支援学校との連携を行う。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの推進に努め、職場体験ツアーへの積極的参加を促せた。 ・適性検査の導入により個々の能力、適性の把握ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職に対する補習を積極的に行ってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・早期からの進路指導ガイダンスやキャリアカウンセリングの充実を図る。 ・マナー、モラル指導を積極的に行い、社会人としての思考、態度を身につけさせる。 ・大学進学を目指す生徒への指導体制の充実を図る。 	
情報公開・説明責任	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りやホームページ等を通し、積極的な情報発信に努めた。 ・学校評価結果の公表を適時・適切に行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校のPRに力を入れて欲しい。 ・ホームページがモバイルフレンドリーに改善され利用しやすくなった。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの小まめな更新や学校便りを発行し、公開していく。 ・ホームページの見直し改善を図り、適宜情報発信を行う。 ・年度末の学校評価に加え、年度途中において反省を行い、教育活動の修正を図る。 	
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアやほくほく祭り、販売会など地域の外部機関との連携に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献に対する先生方の意識が高い。 ・月1回発行の村の広報誌に学校の様子等を載せていただき、高校の貢献度など見える化を図る。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から期待されるよう情報発信方法を精査する。 ・今後も教育資源や外部人材の有効活用に積極的に取り組む 	
公表方法	P T A総会及び支部懇談会、学校便り、P T A便り、学校ホームページ等で公表。	